

原因裁定申請書

公害等調整委員会 御中

〒***-****

〇〇県〇〇市〇〇番地

(電話**-***-****)

(FAX**-***-****)

申請人 甲野 太郎

申請人は、公害紛争処理法第 42 条の 27 第 1 項に基づき、下記のとおり、原因裁定の申請をします。

記

1 当事者

〇〇県〇〇市〇〇番地

申請人 甲野 太郎

〇〇県〇〇市〇〇番地

被申請人 乙山産業株式会社

上記代表者代表取締役 丙 沢 四 郎

2 公害に係る事業活動の行われた場所及び被害の生じた場所

(1) 事業活動の行われた場所

〇〇県〇〇市〇〇番地に所在する被申請人〇〇工場

(2) 被害の生じた場所

〇〇県〇〇市〇〇番地に所在する申請人宅

3 裁定を求める事項

申請人に生じた頭痛、吐き気、めまい等の健康被害は、被申請人が〇〇工場から化学物質（物質名：××）を発生・拡散させたことによるものである、との裁定を求める。

4 理由

(1) 当事者

ア 申請人

申請人は、平成〇年〇月から現住所地に居住している。

イ 被申請人

被申請人は、〇〇を営む株式会社で、平成〇年〇月〇日、申請人宅の西側に〇〇を製造する工場を建設し、以来現在に至るまで操業している（甲1）。

(2) 加害行為

ア 被申請人は、本件工場操業開始以来、主力製品である〇〇を製造するために、化学物質である××を使用している。

イ 本件工場では、工場内の換気のために工場建屋東側に換気口を設置し、換気扇によって強制排気している（甲2）。

これによって、気化した××を含む空気が外部に排出されることになるが、本件工場にはこれを無害化する設備がない。

ウ なお、本件工場の操業時間は、おおむね平日の午前8時30分から午後5時までであり、上記換気扇は、操業時間中常時作動している。

(3) 被害の発生

申請人は、平成〇年ころから頭痛に悩まされるようになり、その後、めまいや吐き気等の症状も現れた。これらの症状は現在も悪化傾向にあり、申請人は週に一度通院しており、〇〇〇と診断されている（甲3）。

(4) 被害と加害行為との間の因果関係

ア 本件工場から申請人宅までは10メートル程度しか離れておらず、その間に障害物はない。そして、上記のとおり、問題の排気口は申請人宅側に設置されている。

イ 本件工場の排気に含まれる××は、一般的に頭痛や吐き気といった症状を引き起こすことが知られている（甲4）。

ウ 申請人に症状が現れた時期は、本件工場が操業を始めた時期と一致しており、休業日には症状がほとんど現れない。

(5) まとめ

以上のとおり、被申請人による××の排出行為と申請人の健康被害との間に因果関係があることは明らかであるから、裁定を求める事項に記載したとおりの裁定を求める。

【添付資料】

1. 全部事項証明書（被申請人）
2. 全部事項証明書（被申請人工場）
3. 全部事項証明書（申請人宅）
4. 証拠説明書 ※別紙様式参照

【証拠】

- | | |
|-----|------------|
| 甲 1 | 住宅地図 |
| 甲 2 | 写真撮影報告書 |
| 甲 3 | 診断書 |
| 甲 4 | 文献（化学物質辞典） |